



Baika Library Times

ヤフーオークションの古書収集

図書館情報センター長 荻田 清

「一人ともしびのもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなくさむわさなる」。『徒然草』第13段の有名な文章であり、わたしも好きで口ずさんでいたことばなのだが、このところ、すっかりこういう心境になれなくなった。一人部屋にこもって読書する時間がとれなくなったのである。

「むさぼるように本を読んだ」という話を耳にするが、わたしはその体験がない。子供の頃、まだ町に貸本屋があって、姉が借りてきた漫画や雑誌や小説を家族で廻し読んでいたことは覚えている。昭和30年代前半のことである。子供の小遣いで借りられるわずかな賃料であったが、自分で払って借りるだけに、熱心に読んでいたのだと思う。

わたしが自覚して本を読むようになった頃には、もう貸本屋はなくなっていた。そのかわり市立の図書館も一般の人向けの本も置くようになっていたし、学校の図書室にも漫画などの軟らかい本もみかけるようになっていた。高校生になって本屋で本を買うことをしはじめたが、それでも受験用の参考書などが主で、自分の趣味で買うことなどほとんどなかった。いつか楽しみながら読める本をいっぱい買って、部屋を図書館のように本で埋め尽くしたいという夢があった。

さて、今、かつての夢はどうなったのか。狭い部屋に本が増えてくると、居場所がなくなる。そのため新刊書はほとんど買わなくなった。それでも知人・友人・後輩から送ってくれる本は途絶えることなく、書棚に並べられずに場末の古本屋のように積み上げてしまうことも多い。

ただ、古書は今も熱心に買い続けている。多忙で読めないことがわかっていても「見ぬ世の人を友とする」には、古書は実にいい。出版した人（作者、本屋、彫り・摺り・製本に関わった人）、この本を買って読んだ人、読まなくても本に触れた人、そんな人たちと会話できるようで、しばし江戸時代の人間になったような、ふしぎな思いにかられるのだ。

しかし、古書収集もわたしがはじめた25年前とはずいぶん変わってしまった。デパートの古書即売会がめっきり減って、寺社の境内の青空古本市などが増えた。あいかわらず古書目録は毎日のように送られてくるが、それに目を通すことが少なくなった。去年、友人から教えられたヤフーのオークションに今は凝っていて、多少コツもわかってきた。これまでは古本屋との駆け引きだったのが、オークションでは、見知らぬ古書仲間との駆け引きとなる。

そんな古書収集は、純粋な書物好きの人の目には、あるいは邪道と映るかもしれない。しかし、かつて貸本屋で借りた本は、ともかく読んだように、買った古本はざっとではあっても必ず目を通す。翻刻や複製やマイクロフィルムや、コンピューターを通しての画像などが簡単に見られる時代になったが、現物はあくまでも現物である。そんな言訳を自分にしながら、集めた本がゆっくり読める日のくるのを待っている。みなさん、本は読める時にじっくり読んでおきましょう。

目次:

ヤフーオークションの古書収集	1
「新OPAC」と「マイライブラリ」の機能について	2
図書館と「情報倫理」	3
2006年度前期図書館展示と講演会のお知らせ	4
図書館ガイダンス・スケジュール	5
貸出、視聴ランキング!	6
本学教員著作寄贈資料	7
新収資料から	7
お薦め図書	7
メールでの連絡について	8
パスワードについて	8

「新OPAC」と「マイライブラリ」の機能について

この春、本学図書館のOPAC（オーパック）が新しくなりました！

検索方法そのものは大きく変わりませんが、画面が見やすくなり、いくつかの新機能がつかまりました。一番大きく変わった点は、「マイライブラリ」の機能ができたことです。

以下の紹介記事を読んで、有効に活用してください。（*赤文字の部分がOPACの新しい機能です。）

OPACについて

OPACとは、本学図書館が所蔵している資料（図書・雑誌・視聴覚資料等）の情報を検索できるシステムです。

- 検索条件の入力画面は2つ：皆さんが持っている情報により「詳細検索画面」と「簡易検索画面」とに使い分けることができます。
- 検索結果画面の充実：従来「詳細画面（図書目録情報）」でなければ確認できなかった資料の「所在」「請求記号」を「検索結果一覧」でも知ることができるようになりました。（「貸出状況」は従来どおり「検索結果詳細」で確認してください。）
- 関連資料へのリンク：検索結果のシリーズ名や著者名、件名のリンクから、関連する資料を検索できます。
- **NIIの検索**：本学図書館の検索結果から連続した操作でNII（国立情報学研究所）の目録所在サービス（NACSIS-CAT）を利用した検索ができます。
- **パンくずリスト**：情報探索プロセスが明示されることにより、今どの操作をしているかがよくわかります。
- ブックマーク：検索結果（「一覧」「詳細」いずれからでも可能）の中から必要なものだけにマーク（ブックマーク）をつけることができます。複数の検索結果の中から必要なものだけを取り分けておき、後でまとめて表示や印刷をしたい場合に便利です。
また、**ブックマークに取り分けた資料のリストは、ファイル保存やメール送信**ができます。（**メディアセンター発行のユーザー名とパスワード必要**）
- 貸出中資料への予約：OPACの検索結果から、貸出中の資料に予約ができます。（**メディアセンター発行のユーザー名とパスワード必要**）

残念ながら「検索履歴」の機能は無くなりましたが、「パンくずリスト」や「ブックマーク」を活用することにより、対応できます。

マイライブラリについて（メディアセンター発行のユーザー名とパスワードでログインします。）

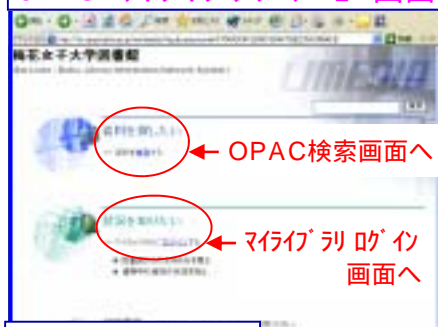
Web上で情報やサービスを提供します。

- 図書館からのお知らせ：図書館からのニュースや返却遅れの督促などお知らせいたします。
- 新着資料のお知らせ：「新着情報」として、新着資料の中から、皆さんがあらかじめ登録しておいた条件に合うものを表示します。
- 貸出中/予約中の資料の情報：返却予定日を確認したり、予約している資料の状態を確認したりできます。

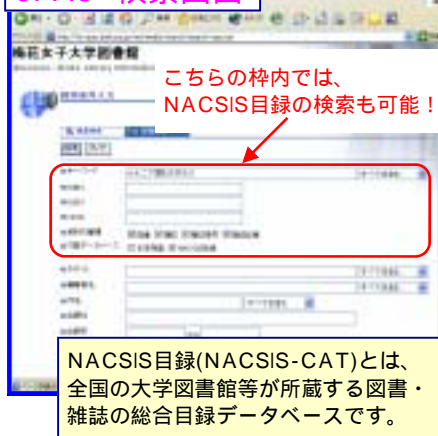


詳しくはOPACのマニュアルをご覧ください。
ご不明な点などございましたら、
お気軽にレファレンスカウンターの司書に
お尋ねください！

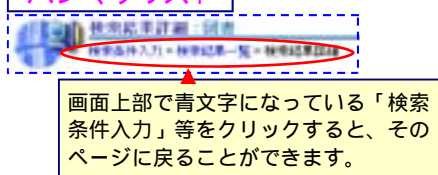
OPAC・マイライブラリ メニュー画面



OPAC 検索画面



パンくずリスト



マイライブラリの画面





図書館と「情報倫理」

社会の発展とテクノロジーの進歩は、現代社会において人類に多くの問題を提起しています。例えば「生命倫理」「環境倫理」、そして「情報倫理」もそうです。では、ここでいう「倫理」とは何でしょうか？

倫理とは「人としての行動すべき道、人としてのあるべき姿」と考えれば分かり易いでしょう。インターネットやコンピュータの発達、ネットワークや情報伝達に倫理的問題や摩擦をさまざまな場面で引き起こしています。これらは、プライバシーや公益性の問題とも関連して、早急に議論され解決されなければならない状況にあるのです。しかしそれはネット掲示板や携帯電話だけの問題ではありません。

図書館もそんな情報化社会のまっただ中であって、多くの問題を抱えています。グーテンベルクが活版印刷機を発明して以来、長年紙ベースでのみ情報を提供してきた図書館も、今ではインターネットやコンピュータの存在は不可欠です。「図書館＝本」だけの時代は終わり、すでに図書館には電子ジャーナルやDVD、OPACなどさまざまな紙ではない情報が存在しているのです。そこで問題となるのが、「著作権」や「肖像権」といったことがらです。

例えば、あなたが授業で「レポート」の提出を求められたとしましょう。昔なら、それは図書館で本を調べ、ペンでレポート用紙に書きしるされたのでしょうが、今ではコンピュータ1台で調べることも書くことも出来てしまいます。では仮に図書館で関連する情報を見つけたとして、あなたがそれを「コピー」しようとしたとします。そこに「倫理」が求められるのです。



著作物の私的使用

もしあなたが持っているアーティストのCDやDVDの音楽や情報をダビングして、友達に貸すことはできません。音や映像に限らず、図書館で本をコピーする場合もこの条件に準じなければなりません。

もしコピー（複写）をする場合は図書館の本に限られ、本人がカウンターに申し出て「文献複写申込書」を提出し、指定されたコピー機で本人が行います。これは著作権法を遵守する旨の誓約書を兼ねたものであり、複写物は有償無償を問わず再複写や頒布はできません。

勝手に本をデジカメで撮影したり、パソコン上のデータをコピーすることも法律に違反する行為です。また図書館以外の本のコピーもできません。



著作物の引用と利用

例えば、レポートで誰かの書いた文章を使用する時、「引用」なのか「著作権の侵害」なのかは大きな違いです。

そのため図書館でコピーを申し込む場合でも、公表された著作物の一部分であることが条件となります。本一冊すべてをコピーすることは出来ません。半分を超えないことが条件になっていて、コピー部数も1部のみです。またそれは調査研究の目的に限られていて、刊行後相当の期間を経たものだけが対象です。今日の新聞や今売られている雑誌などのコピーはできません。

ただし例外もあります。著作者の了解が得られたものや、著作権フリーやオープンソースとなっている著作物。そして著作権の保護対象となっていない憲法や法令、著作者の死後50年が経過した保護期間の過ぎた著作物などは保護の対象外となります。

実際図書館では本の閲覧だけでなく、パソコンの使用やDVDやビデオで映画を鑑賞したり音楽を聴くことも出来ます。ここに挙げたのは、図書館の関係する、情報倫理の一例に過ぎません。

ぜひルールを守って図書館を有効活用することで、あなたのキャンパスライフを一層有意義なものにしましょう！

2006年度前期 図書館展示と講演会のお知らせ

図書館展示コーナー

「所蔵おもちゃ絵展」

展示期間：4月4日（火）～5月6日（土）

おもちゃ絵とは、江戸時代から明治にかけて、子供の遊び用に描かれた絵草紙（錦絵）の一種です。

その内容は、主に子どもが好みそうなものが選ばれ、おもちゃ絵を通じていろいろな事を知り、また作る喜び、遊ぶ喜びを知ることができました。

今回は、図書館が少しずつ収集してきたものを展示しています。現代に通じる児童文化のルーツをお楽しみください。



婦人に着物きせ



当世姉さま



ちんわんぶし

「所蔵『万葉集』展」

展示期間：5月15日（月）～7月1日（土）

本学の万葉集関連の文献には、厳重なガラス張りの中で大切にお見せするものではありません。でも今回は、先学たちが、一首の読みをどのように決めていったのかわかるように本学の図書館が所蔵している諸注釈書を展示しておきます。気になる注釈書を見つけたら、早速書棚から取り出して、先人たちの言葉に耳を傾け語らうのも、『万葉集』を愛読するひとつの方法であることをお見せいたします。

梅花女子大学図書館公開講座

図書館で読みたい『万葉集』

『万葉集』は飛鳥・奈良時代ばかりでなく、1300年もの長い時間をかけて読み継がれてきたプロセスを楽しむことができます。今回は、本学図書館の蔵書を手に取りながら、一首の読み方や意味をめぐって、先学たちが繰り広げた熱いバトルをお話しいたします。

講師：梅花女子大学 文化表現学部 日本文化創造学科 市瀬 雅之

日時：6月26日（月）13：00～14：30

受講料：1,000円 学内者、梅花学園生涯学習センター会員は無料

場所：梅花女子大学図書館



展示に関するお問い合わせ：梅花女子大学図書館メインカウンターまで
公開講座に関するお問い合わせ・お申し込み：梅花学園生涯学習センターまで

学園資料室展示

梅花学園の歴史 常設展示

澤山記念館資料展示ホールでは、当学園の歴史に関連する資料を常設展示しています。

展示ホール奥中央には、創立者澤山保羅の胸像があります。1965年度高等学校卒業生からの寄贈で、行動美術会員の今村輝久氏の製作となるものです。



澤山保羅胸像と展示ケース

展示時間：9：00～16：00（月～金）

展示場所：澤山記念館資料展示ホール

図書館ガイダンス・スケジュール ～資料探しのコツ～

皆さんは、レポートの課題が出たとき、必要な資料・情報をうまく探せていますか？

梅花女子大学図書館には、約32万冊の図書、2,800タイトルの雑誌・紀要、19,000タイトルの視聴覚資料、450タイトルの電子資料等があります。また、マルチメディア閲覧コーナーには、CD-ROM・DVD等の電子資料の閲覧やインターネットによる情報探索ができる端末（パソコン）が17台あります。これら図書館の資料・施設を快適に利用できるように、下記の「図書館ガイダンス」を開催します。

「ガイダンス」と聞くと、堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、これを受けておくと、資料探しの手際よく行えるようになり、今後のレポート作成がとても楽になります！

* 日程は未定です。詳細は、ポスター、チラシ、図書館ホームページ、CCS等でご確認ください。

* 申し込みは、すべてメインカウンターにて受け付けいたします。

図書館ツアー ～図書館を探検しよう！～（約30分）

館員が、皆さんと一緒に図書館内を一巡しながら、館内の施設の案内、利用方法について説明します。

昨年度新たに設置された施設もありますので、2年生以上の方も是非参加してください。

OPAC（蔵書検索システム）の使い方 ～必要な資料をすばやく検索！～（約30分）

本学図書館が所蔵する資料を探するためには、蔵書目録を検索する必要があります。OPACとは、コンピューターをつかって、タイトルや著者名、調べたいテーマ等から資料を検索できるシステムです。

本学のOPACでは、図書のほかに、雑誌、CD・VIDEO・DVDなどの視聴覚資料も検索可能。

当説明会では、端末機の操作方法・検索の仕方等OPACの使い方の基本をマスターできます。求める資料を効率よく探せるようになるために、是非参加して下さい。「検索の手引き」も配布します。

先生方へ

図書館では、図書館をよりよく利用してもらうために、各種ガイダンスを行っています。ご希望の日時にご希望の内容でガイダンスを実施いたします。狭い意味での図書館利用だけでなく、情報リテラシーを身につけることは、今後の生涯学習の上でも非常に役立つものと考えます。是非ご活用ください。

準備や日程調整の時間が必要ですので、お早め（3週間前まで）にレファレンスカウンターにお申出ください。

（レファレンス係）

貸出、視聴ランキング！（対象期間：2005年4月～2006年2月末）



図書（貸出ベスト10）（指定図書は除く）

順位	書名 / 著者名	貸出回数
1	バドミントン：カラーイラスト (Color illustrated sports) / 関一誠著	38
2	図書館であそぼう：知的発見のすすめ (講談社現代新書:1453) / 辻由美著	33
3	電車男 / 中野独人著	21
4	魔法使いハウルと火の悪魔 (BFT. 空中の城:1) / ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作；西村醇子訳	20
5	詳解バドミントンの新ルール：新ルールの解説と審判法 / 藤田明男, 阿彦周宜著	19
5	図解コーチバドミントン：カラー版 (Seibido sports series) / 相馬武美著	19
7	ダ・ヴィンチ・コード 上 / ダン・ブラウン著；越前敏弥訳	18
8	運命の息子 (ダレン・シャン:12) / Darren Shan作；橋本恵訳	17
9	かいじゅうたちのいるところ / モーリス・センダックさく；じんぐうてるおやく	16
9	奇怪なサーカス (ダレン・シャン:[1]) / Darren Shan作；橋本恵訳	16
9	ダ・ヴィンチ・コード 下 / ダン・ブラウン著；越前敏弥訳	16



DVDビデオ(視聴ベスト10)

順位	タイトル	視聴人数
1	24 (*は、vol.1～12の合計)	164*
2	猟奇的な彼女	94
3	リロ・アンド・スティッチ	81
4	パイレーツ・オブ・カリビアン	75
5	チャイルドプレイ	66
6	シンデレラ	63
7	ファインディング・ニモ	59
7	ブリジットジョーンズの日記	59
9	シュレック	58
10	Xファイル (**は、vol.1～59の合計)	57**



CD（貸出ベスト10）

順位	タイトル / アーティスト名	貸出回数
1	Love jam / Ai Otsuka	32
2	Mr. Children 1992-1995	21
2	Mr. Children 1996-2000	21
4	暁のラブレター / aiko	20
5	The voice / Ayaka Hirahara	19
6	The ballads / B'z	17
6	月天心 / 一青窈	17
6	Music man ship / コブクロ	17
6	Smap Vest Disc 1 / Smap	17
10	It's a wonderful world / Mr. Children	16
10	Wish you the best / Mai Kuraki	16
10	Smap Vest Disc 2 / Smap	16



● 昨年度、本学図書館で貸出された資料を、図書・CD別にランキングしました。DVDビデオについては、館内視聴が多かった上位10位まで出しました。

● 読んでみたい図書、視聴してみたい資料はありますか？
必要な資料が本学にない場合、他大学・機関の資料を利用することができます(図書館間相互利用制度)。また、「図書・雑誌等購入希望申込書」に必要事項を書いて、カウンターに提出してください。多くの利用が見込まれる資料については、購入を検討いたします(リクエスト制度)。

● いずれの場合も、「学生証」を必ずお持ちください。



人気のある資料は多くの方が予約を入れて待っています。必ず返却期限を守りましょう。

本学教員著作寄贈資料 (2005年度受入分)

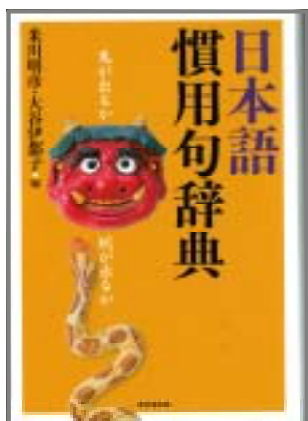
順不同

書名	著者	出版社	請求記号
ちりめん本のすべて：明治の欧文挿絵本 第2版	石澤小枝子著	三弥井書店	022.3 84
NHKみんなの手話 第16巻通巻第34号～	米川明彦, 井崎哲也[著]	日本放送出版協会	378.28 M144 05.7～
外来語の言い換え：基礎演習学生報告書 続	米川明彦編	米川明彦	814.7 Y83 (2)
日本語慣用句辞典	米川明彦, 大谷伊都子編	東京堂出版	813.4 Y83
少女たちの冒険：ヒロインをジェンダーで読む	廉岡系子, 近藤真理子著	燃焼社	909.02 KA14

新収資料から

『日本語慣用句辞典』

米川明彦・大谷伊都子編 東京堂出版 2005年12月刊
(3F辞書・事典架：請求記号:813.4||Y83)



本書は、本学 文化表現学部 日本文化創造学科 米川明彦教授と短期大学部 日本語表現科 大谷伊都子助教授が協同で編集された日本語の慣用句辞典です。

現代日本語において、比較的よく使用される慣用句1563句の意味・用法を詳しく解説しています。また、類書を圧倒する豊富な用例4800を収録しています。

この種の辞典においては、諺・格言・慣用句を同時に掲載したものが多く中で、唯一慣用句の定義を明確化し慣用句のみを掲載した辞典です。

各慣用句の意味はもちろんの事、用法・用例・類語に外国語(英語・中国語・韓国語)を列記し、特に用例では朝日新聞や小説に掲載された句を豊富にし、国語を学習する者にとっては理解しやすく使いやすい配慮がなされています。



お薦め図書

『みすゞコスモス：わが内なる宇宙』

矢崎節夫著 JULA出版局 1996年12月刊
(4F南書架：請求記号:909.028||KA53||Y67)



「みんなちがって、みんないい。」これは童謡詩人の金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」の一フレーズです。一度はどこかで耳にしたことがあるのではないのでしょうか。彼女の埋もれていた遺稿を発見し、再び世に送り出した著者が、その中の三十五編の童謡を軸に見、聞き、感じたことをまとめたものが本書です。「生きているのではなくて、“生かされているいのち”」や「“人はみんな心の融点がちがう”」ことなどが紹介されています。中でも興味深かったのは自分が生まれた時に流した涙に雨として出合えるのが、何年後かという話です。知っているようで知らないことがまだまだいっぱいあるんだと、気付かせてくれます。続編となる「いのちこたます宇宙(みすゞコスモス2)」(4F南書架：請求記号:909.028||KA53||Y67)もあります。



Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

BLT第12号をお届けします。

巻頭に、今年度から図書館情報センター長・日本語表現科教授 荻田清先生から「ヤフーオークションの古書収集」と題して興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

水嶋純子さんのご遺族より新たなご寄付をいただきました。今回のご寄贈分、図書243冊・視聴覚資料(DVD、CD)80点の整理が完了しました。図書は5階英米文学のフロア「水嶋純子文庫」に、視聴覚資料は3階「水嶋純子文庫(視聴覚)」においています。ご利用ください。

本学所蔵の「ちりめん本」(石澤小枝子名誉教授解説、図書館協力)がWeb上に公開されました。総合学術ポータルサイト「学び舎」「デジタルコンテンツ」よりご覧ください。
URL <http://manabiya.baika.ac.jp/>

梅花女子大学図書館

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

図書館
電話 072-643-8498
Fax 072-643-1952
Email blibrary@baika.ac.jp
学園資料室
電話 072-643-8447
Fax 072-643-1952
Email shiryu@baika.ac.jp



図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib/>

メールで返却遅れの通知をします！

4月より、返却予定日を過ぎても返却していない学内者に対しては、メールでお知らせいたします。学内のWEBメールのアドレスにお送りしますので、各自で確認をお願いいたします。

- * 1資料につき、1件のメールが送信されます。
- * 延滞中の資料に対して予約がかかった場合は、従来どおり電話による督促を行います。
- * 教職員(非常勤講師、臨時職員を含む)、学外者(卒業生、旧教職員、生涯学習センター会員)の方へは、従来どおりの方法で督促を行います。

返却期限を守って、お互い気持ちよく図書館、資料を活用しましょう！

2006年3月末までの図書館発行のパスワードをお持ちの方へ

今号p.2に紹介しています「マイライブラリ機能」の導入にともない、お渡ししています2006年3月末までの図書館発行のパスワードが使用できなくなります。

マイライブラリにログインする際は、メディアセンター発行のユーザー名とパスワードを入力してください。

何かご不明な点がございましたら、図書館メインカウンターにお問い合わせください。

(連絡先は、右上に記載しています。)